

頸城有蓋貨車ワ1型の組み立て



部品一覧

別購入部品

部品一覧

エッチング板0.4mm(大)		1
エッチング板0.4mm(小)		1
屋根		1
真鍮帯板	2.0×1.0mm	1
真鍮角線	2.0×2.0mm	1

また、試作品の写真もありますが、一部修正前の部品を使っていますのでご注意ください

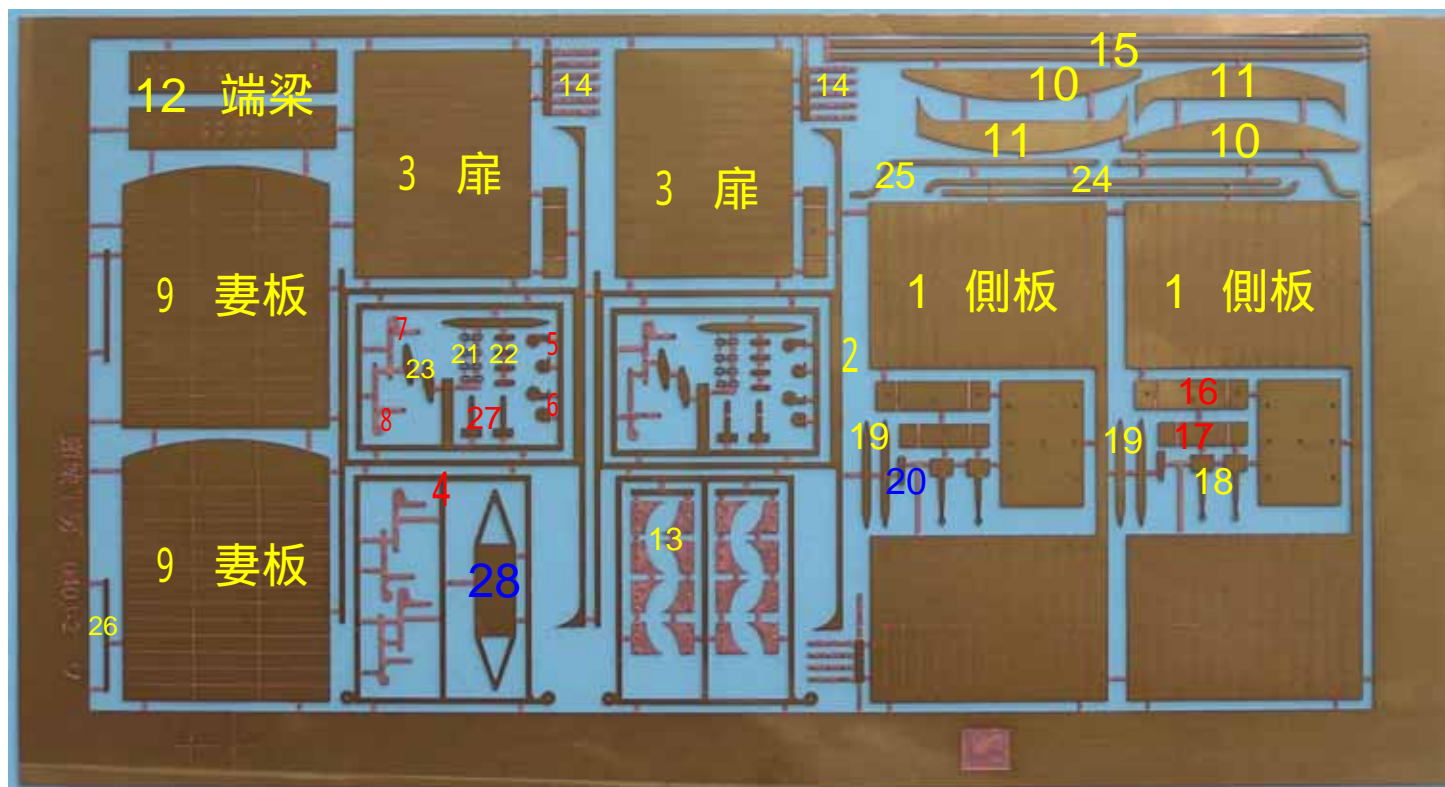
品名	規格	メーカー	備考
朝顔型カプラー(E)		珊瑚	
古典貨車用軸受け	分割、ロスト	珊瑚	*
車輪	11.5(スポーク)	珊瑚	

以下は素材ですので、メーカーはどこでもかまいません。

真鍮アングル	5×4mm	エコーまたはKS	
真鍮角線	1.5×1.5mm		
真鍮角線	0.8×0.8mm		
真鍮アングル	1.0×1.0mm		
真鍮アングル	1.0×2.0mm		
真鍮線	0.5mm		
真鍮線	0.7mm		
真鍮板	1.0mm		
真鍮板	0.5mm		

* 客車等を作ったときのロストのブレーキシューが2組残っていれば、軸受けにホワイトメタル製を使って、ロスト製のブレーキシューを使う方法もあります。

1-1. 部品の説明(0.4mm厚真鍮板)



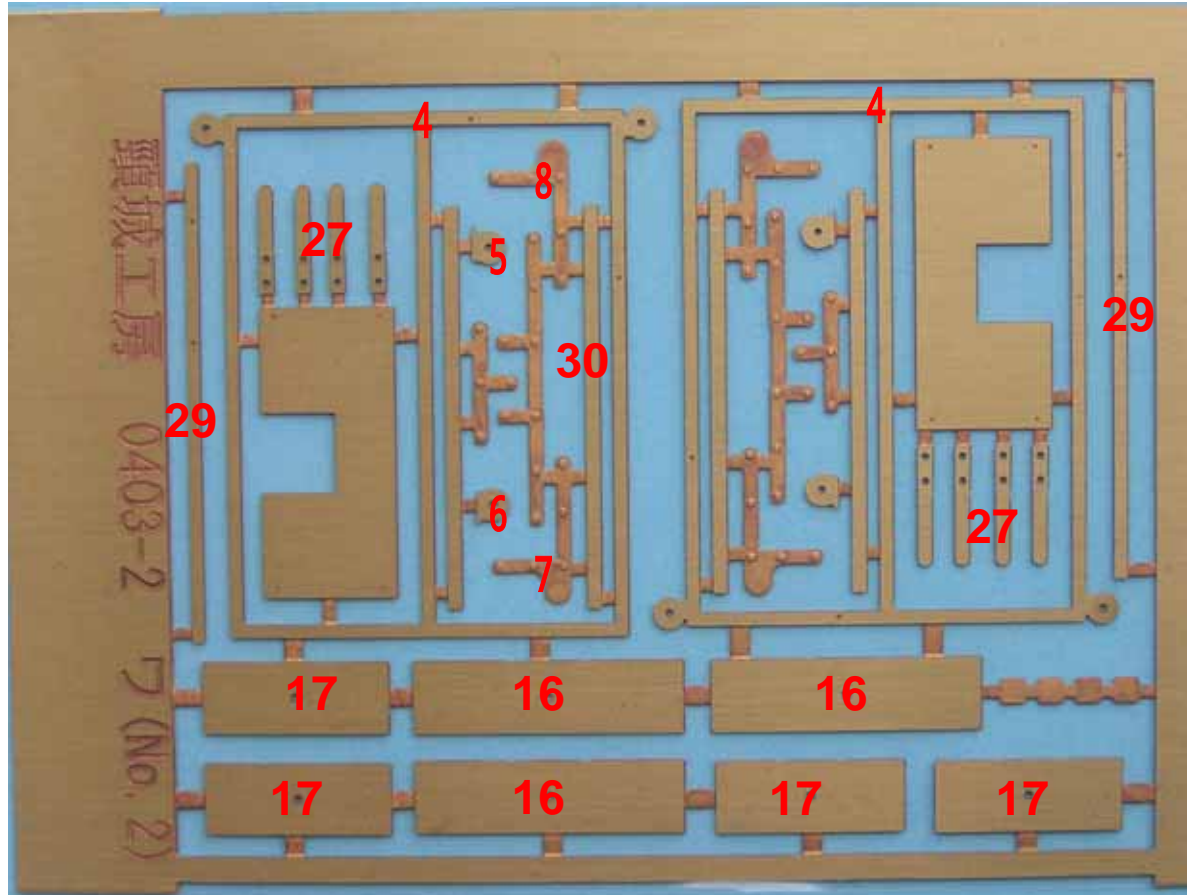
- 2.側板枠
- 4.扉枠
- 5.滑車(右)
- 6.滑車(左)
- 7.滑車押さえ(左)
- 8.滑車押さえ(右)
- 10.妻板上部A
- 11.妻板上部B
- 13.角補強A
- 14.角補強B
- 15.側板上部
- 16.連結器受け下
- 17.連結器受け上
- 18.ブレーキ支え(I字型)
- 19.ブレーキ梁
- 20.ブレーキてこ(大)
- 21.ブレーキ部品1
- 22.ブレーキ部品2
- 23.ブレーキ部品3
- 24.ドアレール(下)
- 25.側ブレーキ
- 26.側ブレーキ受け
- 27.標識灯掛け
- 28.ブレーキ支え(V字型)

赤字の部品は不具合があるため、修正部品を作りました。次のページをご覧ください、そちらをお使いください。

青字の部品は使いません。

一部の部品は予備として必要数以上に入っております。

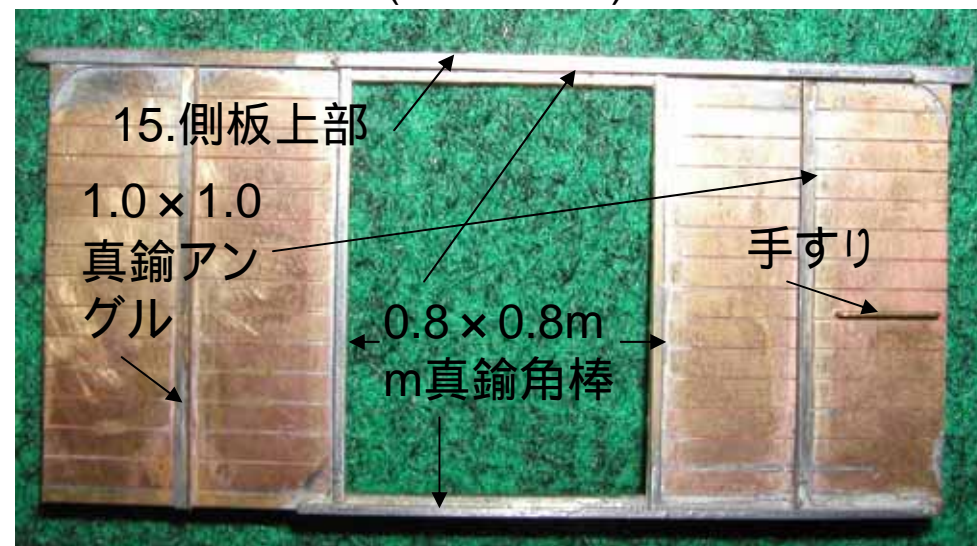
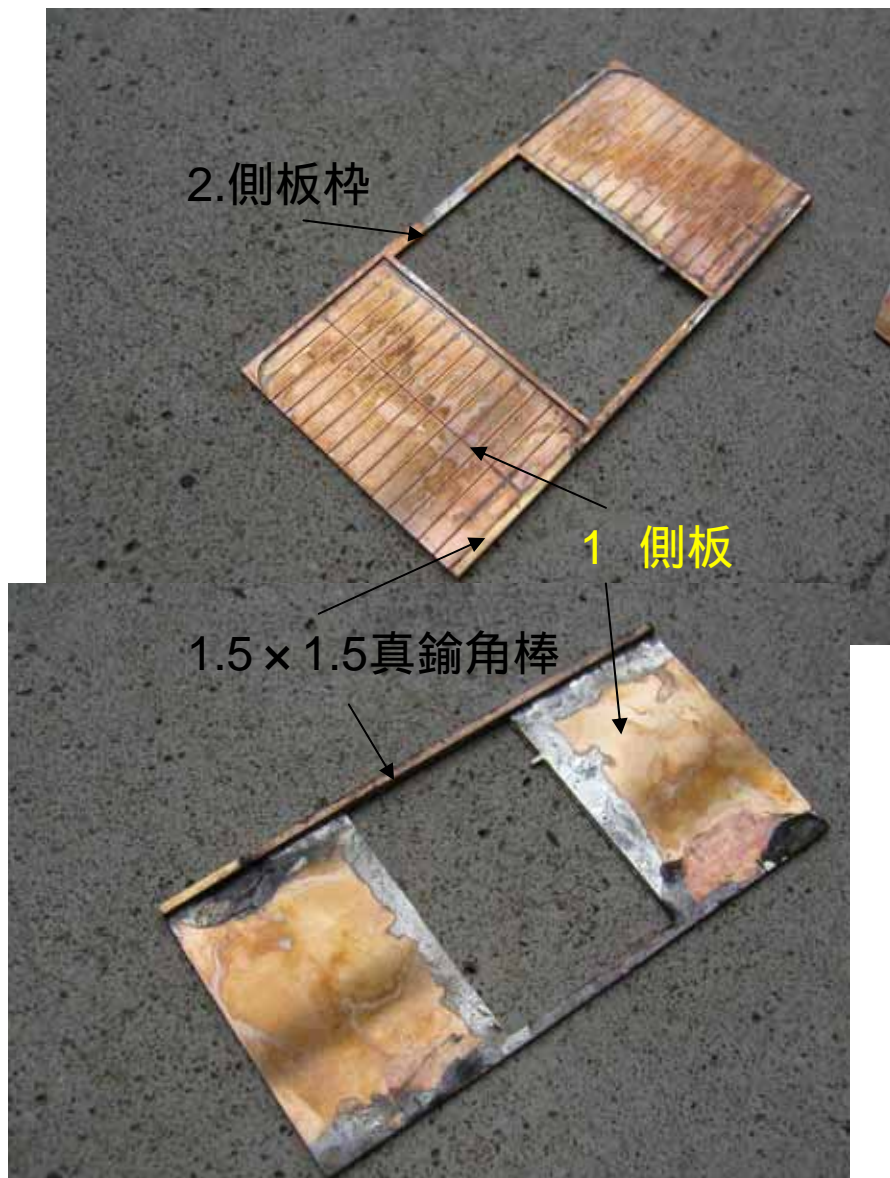
1-1.部品の説明(修正部品)



- 4.扉枠
- 5.滑車(右)
- 6.滑車(左)
- 7.滑車押さえ(左)
- 8.滑車押さえ(右)
- 6.連結器受け下
- 17.連結器受け上
- 27.標識灯掛け
- 29.戸あたり
- 30.扉補修帯板

2-1. 側板の製作 1

1. 側板下に1.5 × 1.5mm
2. 真鍮角棒を半田付け。側板表面が角棒と面一になるようにする。鋼板を張ったワ7,10にする場合は、木目を裏側にします。
3. 15.側板上部を張ります。両側を張り出しておきます
4. 0.8 × 0.8mm真鍮角棒、1.0 × 1.0真鍮アングルを半田づけ。
5. 片方のみ手すり(0.5真鍮線)を追加



2-2 側板の製作 2



29.戸あたりのリベットを打ち出し、(ドリルで穴が空かない程度に裏からさう)い、 $0.8 \times 0.8\text{mm}$ 真鍮角棒に貼り付ける。
さらに側板の扉開口部左に付けた $0.8 \times 0.8\text{mm}$ 真鍮角棒の右側に 0.8×0.4 真鍮帯板を半田付けした上に角棒に付けた29.戸あたりを半田付けする。下は滑車が入る隙間を空ける。



裏には $5 \times 4\text{mm}$ アングルを付けます。
 1.5mm 角線と側板の角に合わせて付けます。



3. ドアの組み立て



8.滑車押さえ(左)
7.滑車押さえ(右)



30.扉補修帯板

5.滑車(左)

6.滑車(右)

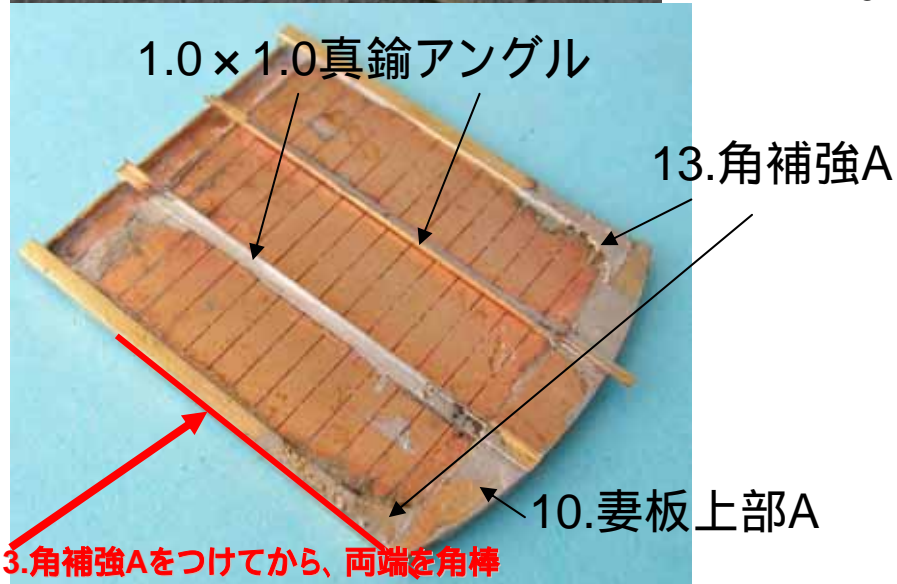
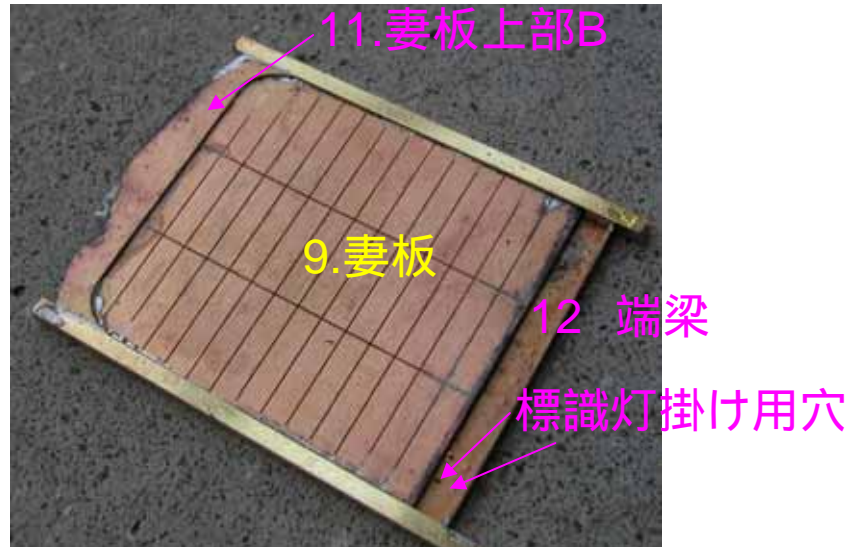
1. 4.扉枠にリベットを打ち出し、(ドリルで穴が空かない程度に裏からさう)3 扉に貼り付ける。ワ7,10にする場合は、木目を裏側にします。
2. 5.滑車1,6.滑車2,7.滑車押さえA,8.滑車押さえBを所定の位置につける。5.滑車1,6.滑車2はエッチングの具合を見てよいものを選んでください。滑車押さえを扉枠につけてから中心に真鍮線を通すと滑車がつけやすくなります。

3.斜めの手すり(0.5)をつけます。

4.ドア上部に30.扉補修帯板を付けます

5.ドアを側板に合わせて付けます

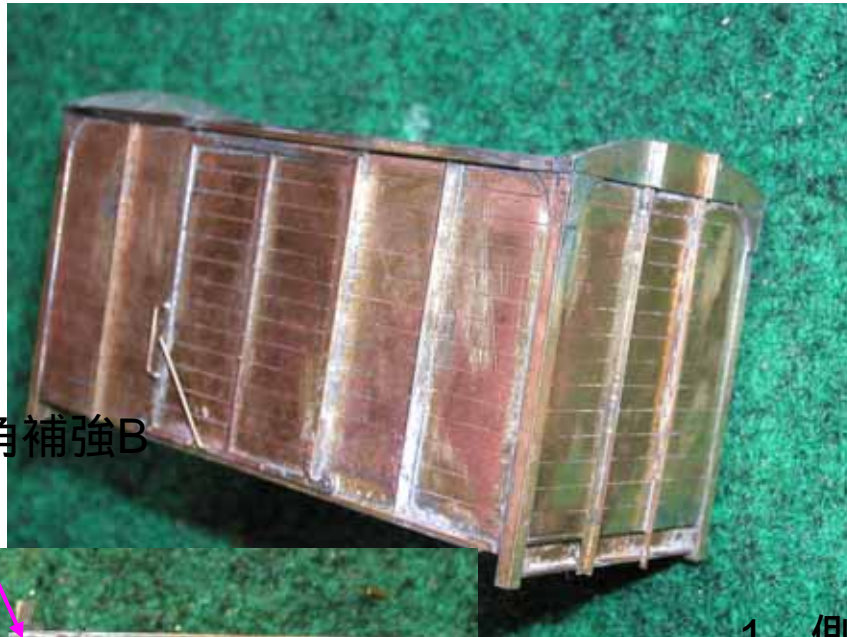
4.妻板の製作



13.角補強Aをつけてから、両端を角棒と面一になるまでヤスります。

1. 9.妻板の上に合わせるように11.妻板上部Bを半田付け。
2. 12.端梁の裏からけがき針でリベットを押しだし、2箇所標識灯用の穴を開ける。
(標識灯は修正部品のものを使うのが正しく、向かって一番左たてに2列のリベットを貫通させます。)
3. 両側に2 x 2mm真鍮角棒を半田付け
4. 円弧部分を合わせて13.角補強Aをつけてから、**両端を角棒と面一になるまでヤスります。**
5. 10.妻板上部Aをつけ、1.0 x 1.0真鍮アングルをつける。上部は一度切断してつける。最後に上部に出張った角材等を切り取る。下部はアングル、角材とも1.5mm出っ張るようにする。

5.車体の組み立て



14.角補強B



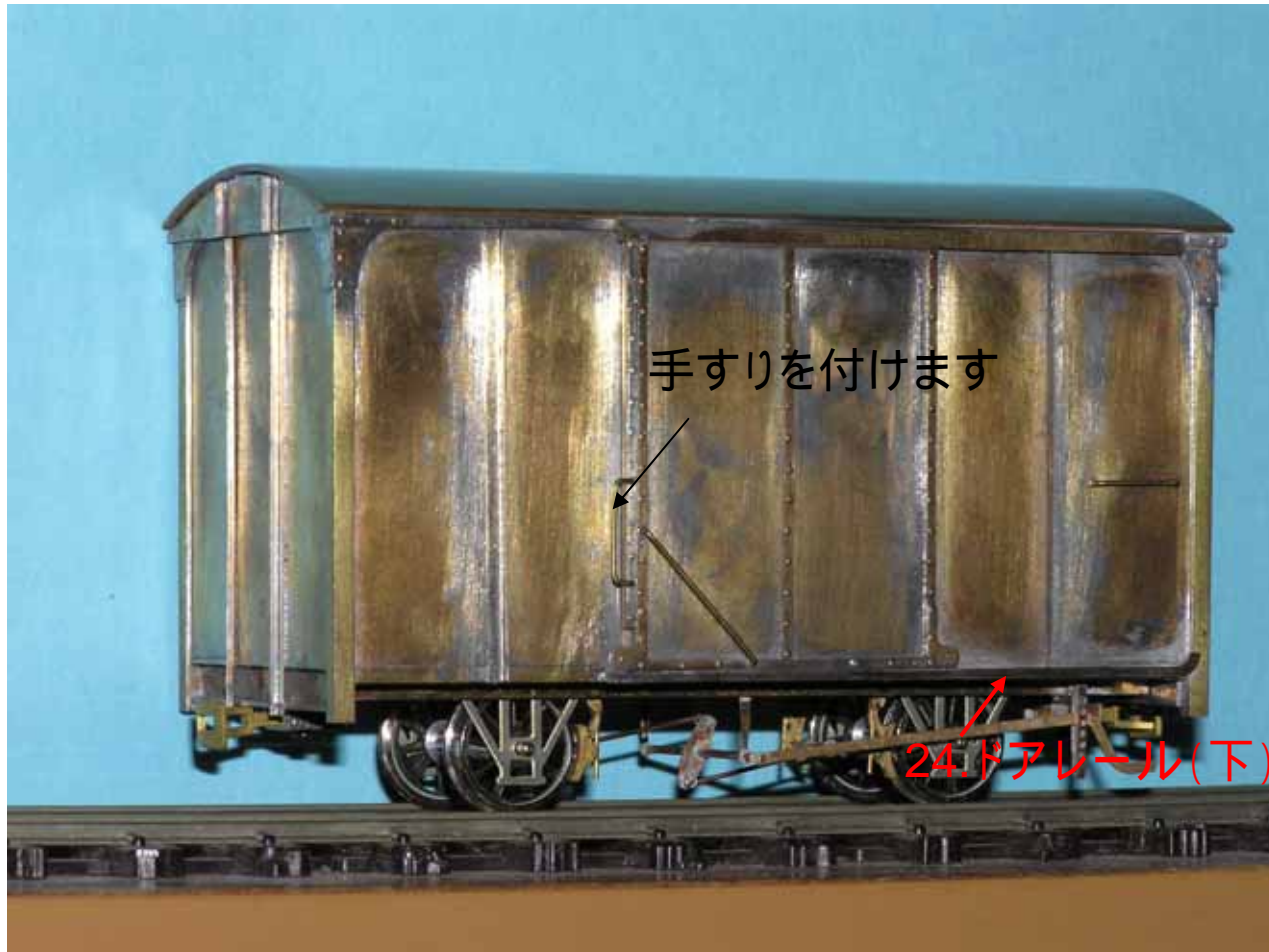
13.角補強A



13.角補強B
真ん中のリベットを角補強Aのリベットに合わせ、よけいな部分を切り取ります。

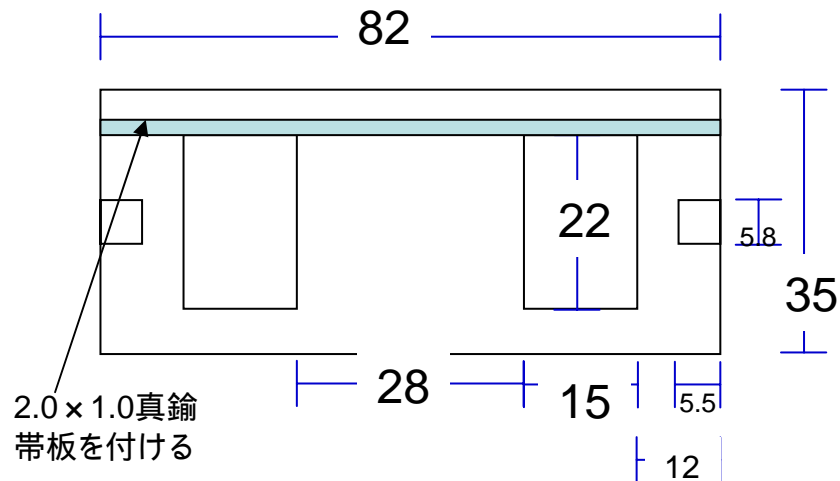
1. 側板と妻板を張り合わせ、箱にします。
2. 角には13.角補強Aを張り、さらに14.角補強Bを写真のとおり張ります。
3. ドアの側は、14.角補強Bをリベット2つのところで切ります。
4. ドアレールにつけた0.8×0.8mm真鍮角棒を覆うように1×2のアングルでドアレールカバーを付けます。
5. 屋根を半田付け

6.車体の仕上げ

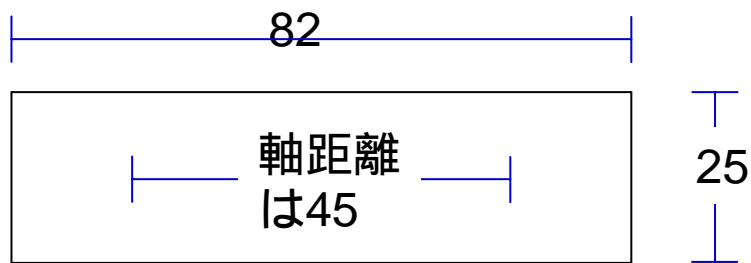


7. 下回りの組み立て

1.0mm厚真鍮板

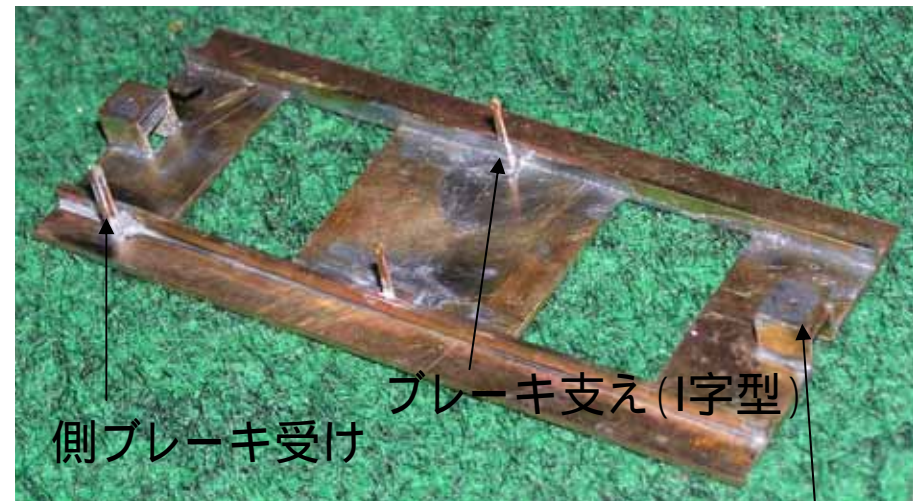


0.5mm厚真鍮板



単位mm

左記の寸法で1.0mm、0.5mm厚の真鍮板を切り抜きます。2.0×1.0真鍮帯板を付け、ブレーキ支え、連結器受け、側ブレーキ受けを付けます。

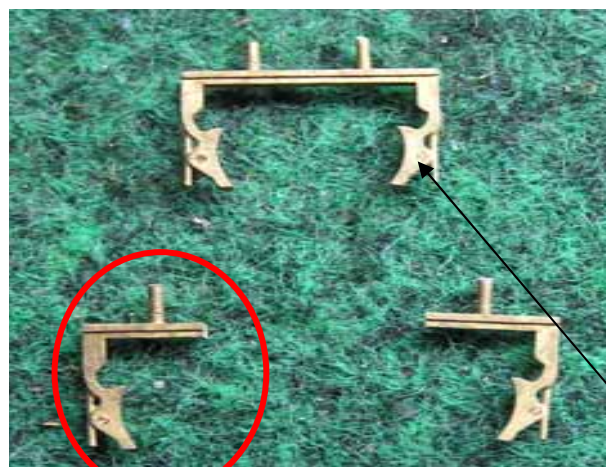
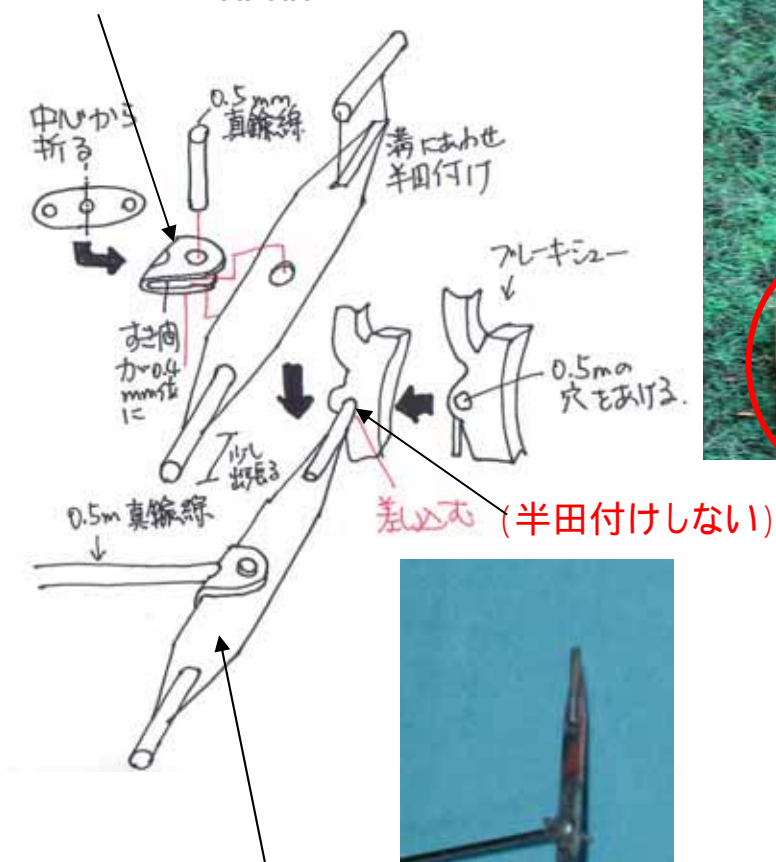


連結器受け(下)と連結器受け(上)をコの字型に曲げ組合わせます。隙間は1.5mmで、連結器が入ること確認してください。



8-1. ブレーキの組み立て1

ブレーキ部品2



半分に切断



0.5mmの穴を開ける

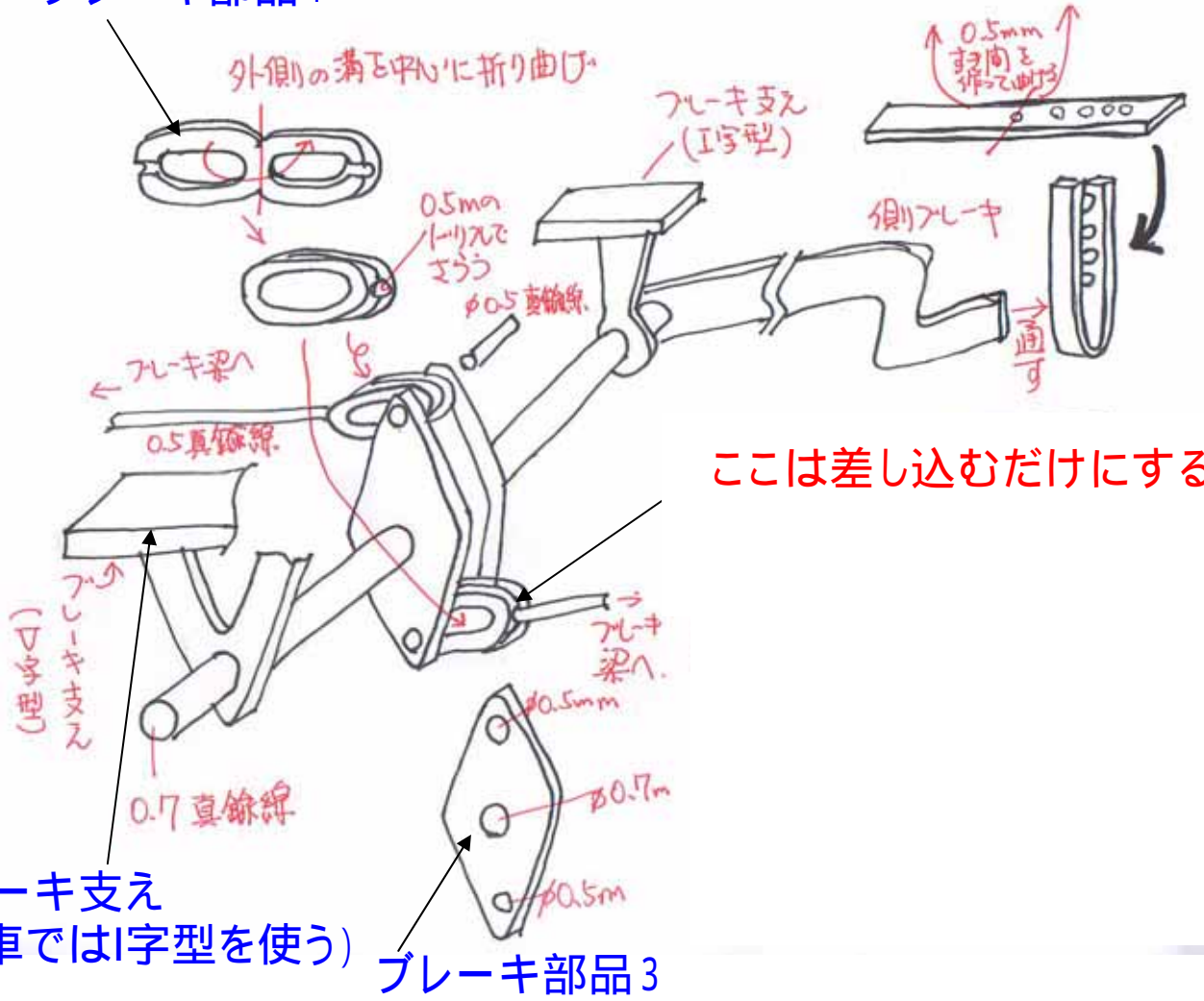
ブレーキ梁



ブレーキ部品2

8-2 ブレーキの組み立て2

ブレーキ部品1



貨車下回りの完成状態



説明書の写真だけではわかりにくいと思います。

制作途中に撮った他の写真を別フォルダーに入れておきました。未整理で見にくいと思いますが、ご参考ください。

